

本取扱説明書は必ず保管ください。
照明器具の交換時や清掃時などにも、安全のために再度内容をご確認ください。
なお、器具の点検・交換は必ず工事店へご依頼ください。

6. 安全上のご注意

△ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 保 寶	<ul style="list-style-type: none"> お手入れの際は、本取扱説明書にしたがって行ってください。落下、感電、火災の原因となります。 お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> 点灯中及び消灯直後は器具が高温となっておりますので、手を触れないでください。 お手入れの際は、必ず電源を切って器具が十分に冷えてから行ってください。やけど、感電の原因となります。
 禁 止	<ul style="list-style-type: none"> 器具及び電源ユニットを布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災の原因となります。 器具及び電源ユニットの直下や近くにストーブなどの熱器具を置かないでください。短寿命、火災の原因となります。 器具及び電源ユニットを、酸性・アルカリ性洗剤、ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、殺虫剤、みがき粉などで洗浄しないでください。破損、感電の原因となります。 本製品は屋内用器具です。屋外へ設置しないでください。器具の破損、感電、火災の原因となります。 ソケット型器具は投光器のような斜め付けはしないでください。器具の破損、感電、火災の原因となります。
 取付け	<ul style="list-style-type: none"> ソケット型器具を取付ける際は、口金樹脂部分を持ち、ゆっくり回して取付けてください。 必要以上の締め付けは器具の破損、感電、火災の原因となります。
△ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険及び物的損害の想定される内容を示します。
 禁 止	<ul style="list-style-type: none"> 器具及び電源ユニットを水洗いしないでください。感電、故障の原因となります。 器具を清掃する際は、乾いた柔らかい布や、やわらかい布を水に浸しよく絞って拭いてください。 安全上、LED光源を長時間直視しないでください。目に悪影響を及ぼす恐れがあります。
 点 檢	<ul style="list-style-type: none"> 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電、落下などに至る場合があります。
 !	<ul style="list-style-type: none"> 器具には、寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。交換をおすすめします。

7. 使用上のご注意

●点灯の瞬間、一度光源が点滅する場合があります。これは、長時間安全にご使用いただくための保護動作です。
●LED光源にはバラつきがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
●器具及び電源ユニットから放熱された熱が滞留しない空間において、周囲温度-40~+50°C範囲で50,000時間使用できるように設計しています。 周囲温度が高い場合は、器具及び電源ユニットの寿命が短くなります。※レンズ可変仕様品は周囲温度-40~+60°C
●LED素子は器具組込のため、LED素子単体の交換はできません。
●赤外線リモコン方式のテレビ、ラジオなどは器具から離してご使用ください。正常動作しない場合があります。
●受信電波が弱い場合、AM及び短波放送では雑音が入る場合があります。
●器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入る場合があります。
●放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や電源ユニットの配線からの雑音を受けることがあります。
●点灯時、消灯直後に部品の伸縮によるきしみ音が発生することがあります。性能上問題はありません。
●入力電力は許容範囲外でご使用しないで下さい。故障、短寿命の原因となります。

8. お手入れ方法

- 器具のお手入れは、必ず電源を切り、器具が十分冷えてから行ってください。
- 器具の外面の汚れは、乾いた柔らかい布や、水に浸しよく絞った柔らかい布で拭いてください。

9. 製品仕様

詳細は納入仕様書をご確認ください

*には発光色の記載が入ります。（昼白色=N 電球色=L）

品番	仕様	質量		定格入力電圧	定格消費電力	電源周波数	使用環境温度	使用湿度範囲
		器具	電源					
NT250*-MS-S	ミドルレンジ	1.5 kg	1.1 kg	AC100V ~254V	AC100V時：54W AC200V時：52W AC254V時：53W AC100V時：78W AC200V時：77W AC254V時：77W	50Hz / 60Hz	-40°C ~ +50°C	10~85%RH
NT250*-MS-H		1.6 kg						
NT400*-MS-S	仕様	1.5 kg	1.2 kg	許容範囲 AC90V ~279V	AC100V時：63W AC200V時：62W AC254V時：63W	50Hz / 60Hz	-40°C ~ +60°C	10~85%RH
NT400*-MS-H		1.6 kg						
NT250*-LS-S	レンズ可変	1.5 kg	1.2 kg	AC100V時：107W AC200V時：105W AC254V時：105W	50Hz / 60Hz	-40°C ~ +60°C	10~85%RH	10~85%RH
NT250*-LS-H		1.6 kg						
NT400*-LS-S		1.5 kg						
NT400*-LS-H		1.6 kg						

10. 保証とアフターサービス

保証期間は、商品お買い上げ日（お引渡し日）より5年間です。

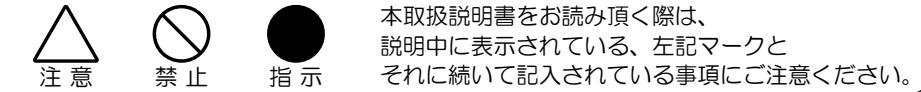
1日20時間以上の長時間使用される場合、3年間とさせていただきます。

保証内容とアフターサービスについては、同封されている保証書をご確認下さい。

このたびはお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
商品を安全に正しく使っていただくために、本取扱説明書をよくお読みください。

対象機種	NT250N/L-MS-S NT400N/L-MS-S (NTモデル ソケット型 ミドルレンジ仕様)
	NT250N/L-MS-H NT400N/L-MS-H (NTモデル 吊下げ型 ミドルレンジ仕様)
	NT250N/L-LS-S NT400N/L-LS-S (NTモデル ソケット型 レンズ可変仕様)
	NT250N/L-LS-H NT400N/L-LS-H (NTモデル 吊下げ型 レンズ可変仕様)

- 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。
一般の方の施工は、法律で禁じられております。



工事店様へ 工事が終了したら、必ず本取扱説明書をお客様へお渡しください。

1. 施工上のご注意

△ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 取付け	<ul style="list-style-type: none"> 器具及び電源ユニットの取付けは、本取扱説明書にしたがってください。 取付けに不備があると器具の落下、感電、火災の原因となります。 電源の接続の際は、本取扱説明書にしたがってください。誤った配線を行うと器具及び電源ユニットの破壊、火災、落下、感電の原因となります。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 施工の際は、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま施工すると器具及び電源ユニットの破壊、感電、火災の原因となります。 落下防止のため、器具は必ず落下防止ワイヤーを使用し吊下げてください。 落下防止ワイヤーは、十分に強度のある場所へ、なるべく緩みの無いように張ってください。 既設のHID安定器は、必ず取り除いてください。安定器に器具及び電源ユニットを接続すると、破壊、感電、火災の原因となります。 吊下げ型器具は、樹脂製(塩化ビニル製)ボックスに照明器具を取り付けないでください。器具落下の原因となります。 前面カバー及びレンズに衝撃を加えたり、破損した状態で使わないでください。器具落下の原因となります。 器具と被照射面は1m以上離して使用してください。火災、被照射面の変色、変形の原因となります。 ソケット型器具は、口金をソケットに対して垂直に挿入してください。口金を斜め方向から無理に挿入すると、ソケットや口金が破損する恐れがあります。本器具は鉛直下方向にのみ取付け可能です。投光器のような斜め方向へ設置しないでください。
 アース工事	<ul style="list-style-type: none"> アース工事は、電気設備の技術基準にしたがい、確実に行ってください。 アースが不完全な場合は、感電の原因となります。〔D種（第三種）接地工事〕

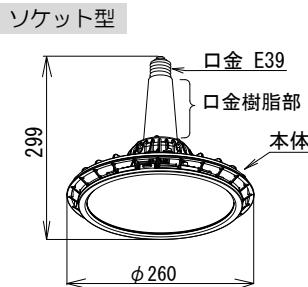
△ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険及び物的損害の想定される内容を示します。

 改造禁止	<ul style="list-style-type: none"> 器具及び電源ユニットを改造したり、部品を変更して使用しないでください。 落、感電、火災の原因となります。
 禁 止	<ul style="list-style-type: none"> 器具と電源ユニットの配線間にスイッチやリレーなどを入れないでください。故障、火災の原因となります。 濡れた手で器具を取り扱わないでください。感電、故障の原因となります。 電源線の一次側、二次側の配線を束ねないでください。発熱の原因やノイズによる影響を受けやすくなります。 口出線（ケーブル）引っ張り禁止。器具を持ち上げるときは、器具本体を持ってください。口出線を引っ張って持ち上げると故障の原因となります。 交流電源を繰り返し、継続して入切させて（点滅させて）使用しないでください。故障、火災の原因となります。
 取付け	<ul style="list-style-type: none"> 電動機、工作機などの動力系（三相交流）及びHID安定器と本製品の電源は分けて配線してください（AC分離）。誤動作、故障の原因となります。 吊下げ型器具は天井面直付器具です。壁面取付・補強のない天井面への取付・据え置き取付はしないでください。発火、感電、落の原因となります。 AC200V電源をご使用の場合は、両切スイッチを必ずご使用ください。 (AC100V等の接地極があり、非接地側に取付ける場合のみ片切スイッチでも使用可能) スイッチOFF状態での暗点灯、短寿命の原因となります。
 使用環境	<ul style="list-style-type: none"> 器具及び電源ユニットを密閉したり、器具からの放熱が滞留する空間に設置しないでください。

※本取扱説明書の図の一部は、抽象化した共通図を使用しているため実物と形状が異なる場合がありますが、すべての事項を確認の上ご使用ください。

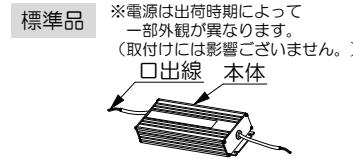
2. 各部の名称と寸法

器具寸法は下図参照

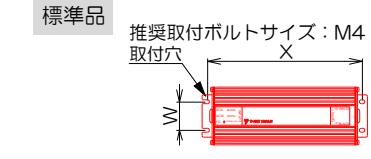


詳細は承認図をご確認ください
単位:mm

電源ユニット各部の名称



電源ユニット取付穴寸法



電源ユニット標準品寸法 ※電源品番は出荷時期によって異なります。

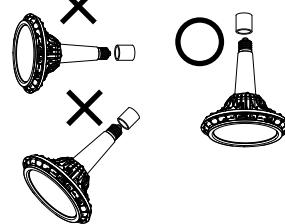
機種	W	X	ボルト 必要数
器具: NT250-MS/LS, NT400-MS 電源ユニット: PS250E-SH(-2)	37	201	4個
器具: NT400-LS 電源ユニット: PSM250-SH-3 (-4)	37	228	

3. 施工前にご確認ください

- 器具や電源ユニットの口出線を持っての持ち上げ・持ち運び禁止

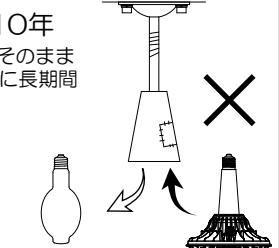


- 鉛直下方向以外の取付姿勢禁止



- 適正交換時期を過ぎた灯具を使用しない

適正交換時期: 8~10年
長期間使用した灯具に、そのままLED器具を装着し、さらに長期間使用するには危険です。



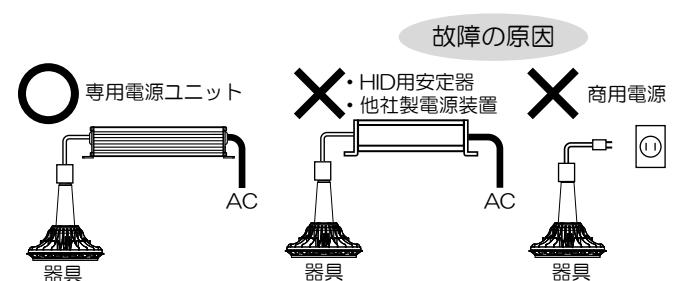
- 電源ユニットを器具に接続しないまま通電しない



不点灯の原因

専用電源ユニット
AC

《不点灯からの復帰方法》
① 電源を落とし、約90秒間放置する。
② 器具と電源ユニットを接続する。
③ 角度、電源を入れる。



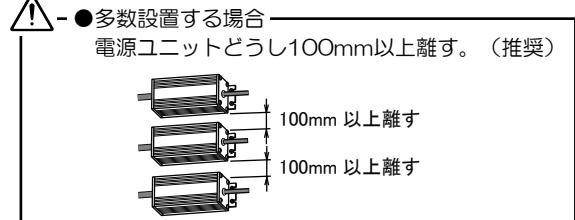
4. 取付方法

1 取付前に確認

器具及び電源ユニットの質量に十分耐えるよう、取付部の強度を確保してください。

2 電源ユニットを取付ける

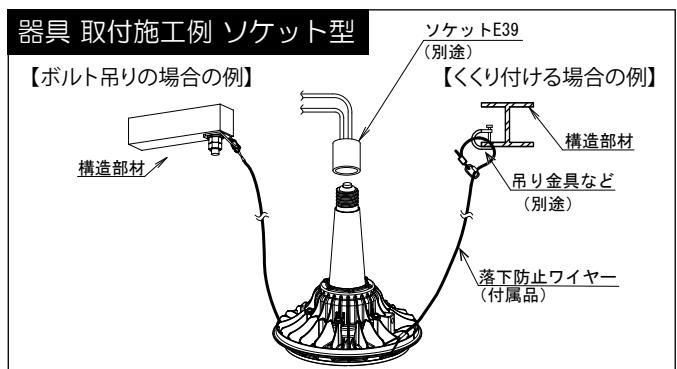
平らな取付け場所へボルトでしっかりと固定する。



3 器具を取付ける

ソケット型

- ソケットに対して垂直に差し込む。
- 口金樹脂部を持ち、ゆっくり回す。
- 必要以上に締め付けない。



つづく

3 器具を取付ける

吊下げ型

- ボルトと平座金、バネ座金、ナットなど各4個(別途)を用いて丸座金を取付場所に確実に固定する。(推奨取付ボルトサイズ:M8)
- 器具を丸座金にジョイント金具とチェーンで吊下げる。

4 落下防止ワイヤーを取付ける

【ボルト吊りで取付ける場合】

- 構造部材と取付用金具をボルトにて取付けを行う。
※推奨取付ボルトサイズ:M10
推奨締め付けトルク: 24.4N·m

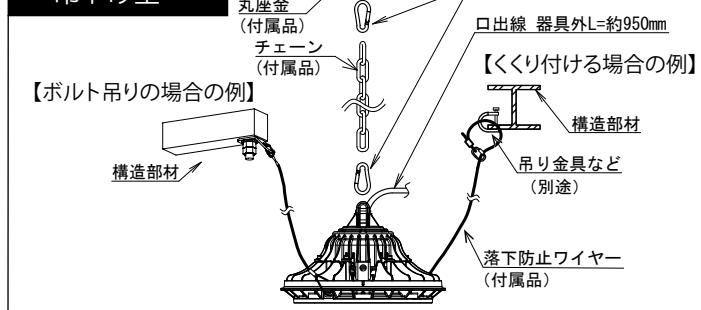
【くくり付けて取付ける場合】

- スクリュージョイントから取付用金具を取り外す。
- ワイヤーを構造物にくくり付け
スクリュージョイントで固定する。

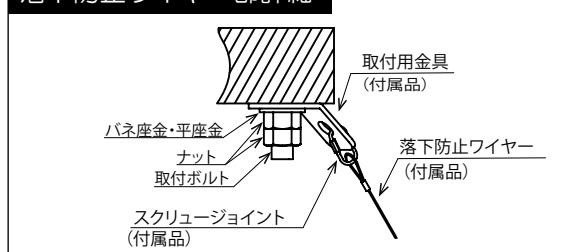
△ 器具取付け時の注意

- 落下防止ワイヤーは必ず取付けて下さい。
- 落下防止ワイヤーはできるだけ継ぎ出がないような位置へ設置して取付けて下さい。
- 落下防止ワイヤーは十分に強度のある造営材などの構造部材へ設置をして下さい。
その他の場所への設置は強度が保てず器具落下的危険が生じます。

器具取付施工例 吊下げ型



落下防止ワイヤー部詳細



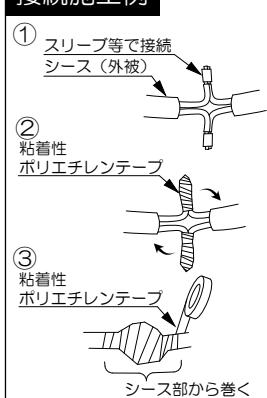
5. 配線方法



1 配線前に確認

- 口出線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈12条に従ってください。
- 口出線の接続は、スリーブ等により確実に行い、粘着性ポリエチレンテープを巻いて十分に絶縁・防水処理をしてください。処理が不十分な場合は、浸水による発火や漏電、電源ユニットの故障の原因となります。
- アース線はD種接地工事を行ってください。アース工事が不完全な場合、感電、火災の原因となります。
- 電源線は、600V二種EPゴム絶縁クロロプロエンゴムキャブタイヤケーブル(2PNCT)同等以上の性能を有するものを使用してください。
- 既設のHID安定器は取り除いてください。使用できません。
- 動力系及びHID安定器とは別電源で配線してください。
- 電動機、工作機などの動力系(三相交流)及びHID安定器と本製品の電源ユニットの電源は分けて配線してください。(AC分離)誤動作、故障の原因となります。
- 電源ユニットのAC入力線とDC出力線を逆に接続した状態で通電しますと、電源ユニットが破壊されます。
- 電源ユニットと器具どうしを接続していない状態で通電しない。保護機能が働き、不点灯の原因となります。

接続施工例



2 アース線・出力線・電源線を接続する

ソケット型

- 器具をソケットにはめ込む。
- 器具側にあるアース端子にD種接地工事を行う。
- 電源ユニットのアース線にD種接地工事を行う。
- 電源ユニットの出力側の口出線を器具のソケットに接続する。
- 電源ユニットのAC入力側の口出線をAC電源線に接続する。

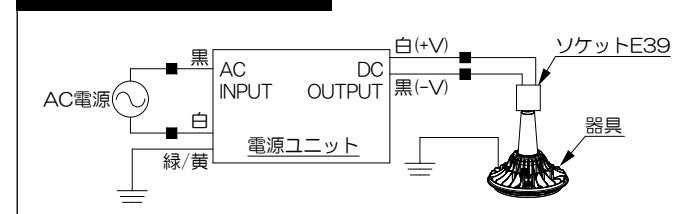
吊下げ型

- 器具側にあるアース端子にD種接地工事を行う。
- 電源ユニットのアース線にD種接地工事を行う。
- 電源ユニットの出力側の口出線を器具側の口出線に接続する。
- 電源ユニットのAC入力側の口出線をAC電源線に接続する。

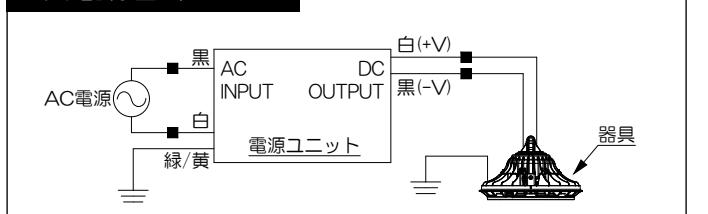
器具のアース部



器具配線図 ソケット型



器具配線図 吊下げ型



つづく